

(株) ゴルフダイジェスト・オンライン
2025年12月期 Q1決算

2025年5月15日

GDO 

 **PLAY YOUR LIFE**

- ▶ 本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は、潜在的リスクや不確定要素等、様々な要素によりこれら見通しと異なる結果となりうることをご了承ください。会社の業績に影響を与えうる事項の詳細な記載は「有価証券報告書」の「事業等のリスク」にありますのでご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。
- ▶ 本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

2025年12月期 Q1決算

1. サマリ
2. 連結の状況
3. 国内セグメントの状況
4. 海外セグメントの状況
5. その他財務数値関係



連結

売上

- 国内・海外両セグメントとも前年比で成長を継続。特に、国内のゴルフ用品販売の成長、海外のゴルフ弾道測定器ビジネスの成長が牽引。前年Q4以降一定のパフォーマンス改善が業績に反映。

利益面

- 利益面では、海外セグメントにおいて物価上昇要因等によりコストが増加し利益率が低下するも、国内事業における増益が寄与し、連結全体としてEBITDA、営業利益ともに増益。
- 海外セグメントにおける「のれん及び無形資産償却費」は4.5億円。為替の影響で25百万円増加。
- 期中平均為替レートは前年比+3.94円、期末為替レートは前年末比-8.64円と大きく変動し、為替差損5.5億円を認識。また、借入にかかる支払利息は1.8億円発生。

B/S

- 当期純損失を計上したことにより純資産が減少。引き続き事業収益改善策の実施による利益獲得、会計基準の選択及びあらゆる資本政策等の可能性を検討し早期の財務基盤安定化を図る。

売上高



134.5億円

YoY +4.9億円
+3.8%

EBITDA



3.5億円

YoY +1.4億円
+67.9%

のれん等償却前
営業利益



-3.9億円

YoY +0.5億円
- %

営業利益



-8.5億円

YoY +0.6億円
- %

親会社株主に帰属する
当期純利益

-15.7億円

YoY -7.5億円
- %

国内

セグメント

全体

- ▶ 売上高は、前年Q2以降のゴルフ用品販売の成長継続及び前年Q4以降回復を見せるゴルフ場ビジネスの成長が奏功し前年比で成長を継続。
- ▶ 利益面では、売上の成長に加え、売上総利益率の改善、販管費の継続的なコントロールが総合的に奏功し、営業利益は前年比2.6億円改善。

リテール
ビジネス

- ▶ 販売戦略や在庫の適正化に向けた施策、各種施策が奏功し前年Q2以降売上成長が継続。売上総利益率も改善し、国内セグメント全体の増収に貢献。

ゴルフ場
ビジネス

- ▶ 悪天候等の影響を受ける中、各種販促施策が奏功し送客人数は前年並みを維持。また、当社独自サービスの強化も進め、前年Q4以降改善傾向が継続。

練習場
ビジネス

- ▶ ゴルフ練習場市場の低迷や競争環境の激化の中、トップトレーサーレンジ導入数は順調に増加。

海外 セグメント

全体

- ▶ ゴルフレッスンの会計上の売上は前年比で減少した一方で、ゴルフ弾道測定器の売上が伸長し、全体としては前年並みの水準を維持。
- ▶ 一方、ゴルフレッスンのCash Salesは既存顧客向け販売が回復し、前年比で1.7%の成長。
- ▶ 両ビジネスを組み合わせたサービス開発(GOLFTEC ANYWHERE構想)等への投資は継続しつつ、コスト管理と効率化の徹底、既存・新規サービスの導入で売上改善を図っていく。

GOLFTEC ビジネス

- ▶ ゴルフレッスンの売上高は前年比で微減も、フィッティング販売・EC販売は横ばい。
- ▶ デジタルマーケティングへのシフトは引き続き加速するも過渡期にあり、新規顧客の獲得に苦戦。一方で、既存顧客は順調に成長し、新規出店を抑制する中でCash Salesは前年比増。
- ▶ 引続きデジタルマーケティングへのシフトや新規サービスの導入、UI・UXの向上等の施策で、新規顧客獲得の成長を図る。

ゴルフ弾道 測定器ビジネス

- ▶ ゴルフ弾道測定器の売上高は前年比で苦戦するも、ホームスタジオ機器、ソフトウェアビジネスは成長。全体として5.7%の成長を実現。
- ▶ ハード価格の競争は引き続き激化するも、ホームスタジオ機器とのセット販売が好調。
- ▶ 引き続き、ホームスタジオ機器販売やソフトウェアビジネスの拡大、また米国以外の海外での販売を強化していく。



CHAPTER

02

連結の状況

(百万円)	2024年 Q1	2025年 Q1	増減額	増減率
売上高	12,959	13,457	+ 497	+ 3.8%
(国内)	6,405	6,728	+ 322	+ 5.0%
(海外)	6,553	6,728	+ 175	+ 2.7%
売上総利益	3,952	4,048	+ 95	+ 2.4%
販管費	4,869	4,901	+ 32	+ 0.7%
EBITDA	213	358	+ 145	+ 67.9%
(国内)	215	499	+ 284	+ 132.0%
(海外)	-1	-140	- 139	—%
のれん等償却前営業利益	-456	-398	+ 58	—%
営業利益	-916	-853	+ 63	—%
(国内)	45	313	+ 267	+ 584.7%
(海外)	-962	-1,166	- 204	—%
経常利益	-619	-1,643	- 1,024	—%
当期純利益	-823	-1,575	- 751	—%

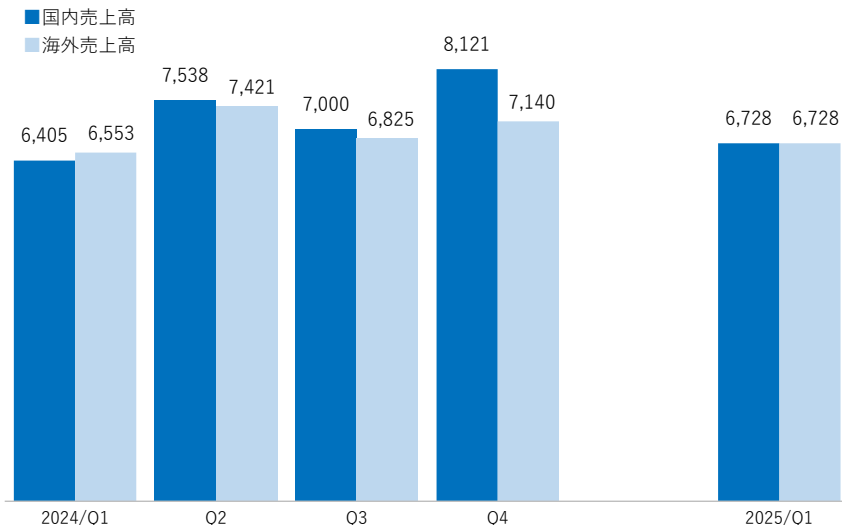
四半期別連結PL推移

(百万円)		2024年実績							2025年実績
		Q1	Q2	上期	Q3	Q4	下期	通期	Q1
売上高		12,959	14,959	27,918	13,826	15,261	29,088	57,006	13,457
	国内	6,405	7,538	13,943	7,000	8,121	15,122	29,065	6,728
	海外	6,553	7,421	13,975	6,825	7,140	13,965	27,941	6,728
EBITDA		213	1,008	1,222	1,007	1,705	2,713	3,935	358
	国内	215	660	876	553	1,007	1,560	2,436	499
	海外	-1	347	346	453	698	1,152	1,498	-140
のれん等償却前営業利益		-456	295	-161	292	859	1,151	990	-398
	国内	45	487	533	371	819	1,191	1,724	313
	海外	-502	-192	-694	-79	39	-39	-734	-711
のれん・無形資産の 償却費（海外）	GOLFTEC事業	191	201	392	192	196	389	782	196
	ゴルフ弾道 測定器事業	268	281	549	264	217	481	1,031	258
営業利益		-916	-187	-1,104	-165	445	280	-823	-853
	国内	45	487	533	371	819	1,191	1,724	313
	海外	-962	-675	-1,637	-537	-373	-910	-2,548	-1,166

連結売上高は、国内、海外ともに成長継続

- ▶ 国内セグメント：リテールビジネスが前年Q2以降増収基調が続き、国内の売上成長を牽引。
- ▶ 海外セグメント：ゴルフ弾道測定器ビジネスの成長が牽引。GOLFTECビジネスは新規顧客の獲得に課題が残る。

セグメント別 売上高（四半期別）（百万円）



Q1 前年比（百万円）

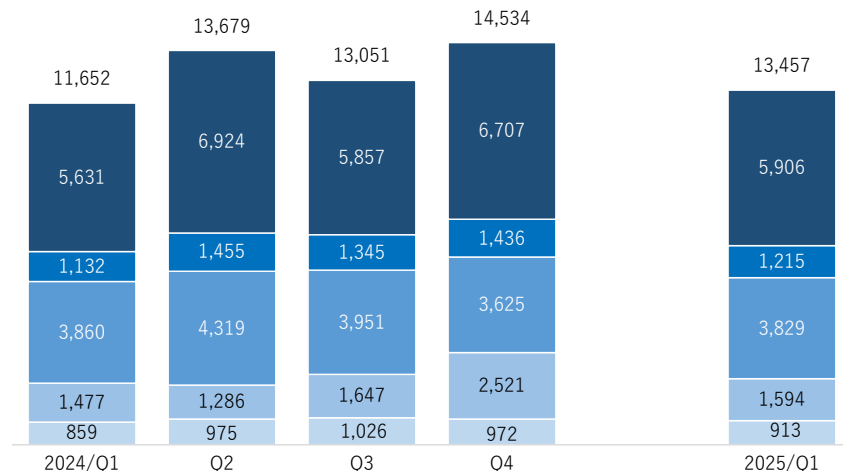
	2024/Q1	2025/Q1	YoY	
連結売上高	12,959	13,457	+ 497	+ 3.8%
■ 国内	6,405	6,728	+ 322	+ 5.0%
■ 海外	6,553	6,728	+ 175	+ 2.7%

国内ゴルフ用品販売サービスと海外のゴルフ弾道測定器サービスが成長牽引

- 国内ゴルフ場サービスは前年Q4以降プラスの成長率に転じ、各種施策の効果が表れ始めた。
- ゴルフレッスンサービスは前年下期のCash Sales不足がQ1の売上高に影響。一方、Q1のCash Salesは前年比プラス成長に転じており、当期下期の売上成長に貢献見込み。

サービス別 売上高（四半期別）（百万円）

■ ゴルフ用品販売サービス ■ ゴルフ弾道測定器サービス
■ ゴルフ場サービス ■ その他
■ ゴルフレッスンサービス



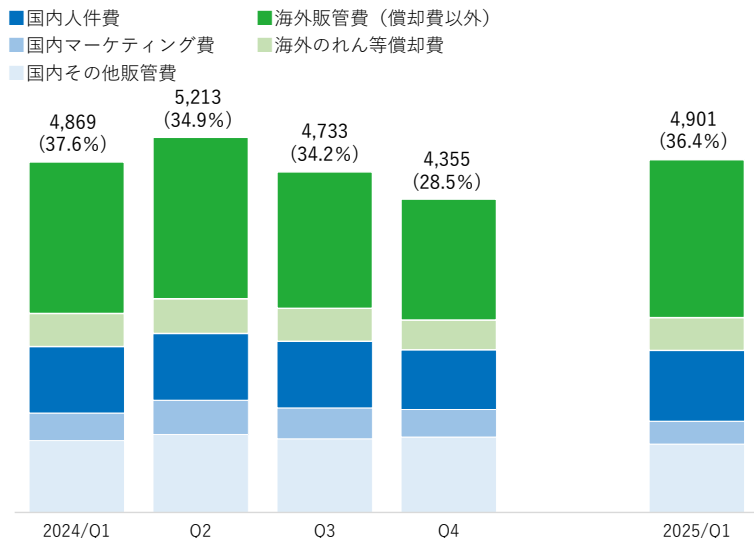
Q1前年比（百万円）

	2024/Q1	2025/Q1	YoY	
連結売上高	12,959	13,457	+ 497	+ 3.8%
■ ゴルフ用品販売サービス	5,631	5,906	+ 274	+ 4.9%
■ ゴルフ場サービス	1,132	1,215	+ 82	+ 7.3%
■ ゴルフレッスンサービス	3,860	3,829	- 31	- 0.8%
■ ゴルフ弾道測定器サービス	1,477	1,594	+ 116	+ 7.9%
■ その他	857	912	+ 55	+ 6.4%

海外の人件費を中心に増加。その他販管費は環境変化に合わせてコントロール

- ▶ 国内：マーケティング費を中心に、引き続きコントロールを継続。
- ▶ 海外：物価上昇、デジタルマーケティング、ソフトウェア開発の実施等。

販管費（四半期別）（百万円、売上高販管費比率％）



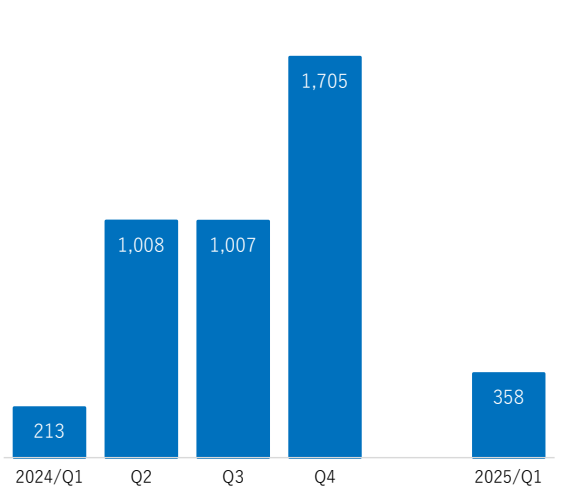
通期 前年比（百万円）

	2024/Q1	2025/Q1	YoY
連結販管費	4,869	4,901	+ 32※ + 0.7%
（売上高比）	(37.6%)	(36.4%)	(- 1.2p)

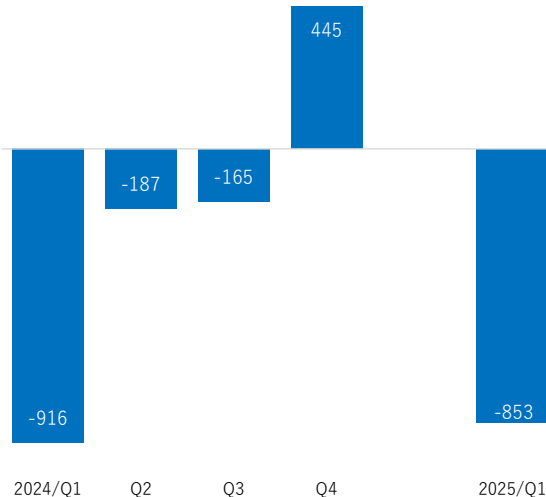
※うち、為替の影響額-68百万円

■ 海外販管費(償却費以外)	前年比	+	4.3%
■ 海外のれん等償却費	前年比	-	1.0%
■ 国内人件費	前年比	+	5.9%
■ 国内マーケティング費	前年比	-	17.1%
■ 国内その他	前年比	-	4.5%

EBITDA推移 (四半期別) (百万円)



営業利益推移 (四半期別) (百万円)



Q1 前年比 (百万円)

	2024/Q1	2025/Q1	YoY	
EBITDA	213	358	+ 145	+ 67.9%
営業利益	-916	-853	+ 63	- %

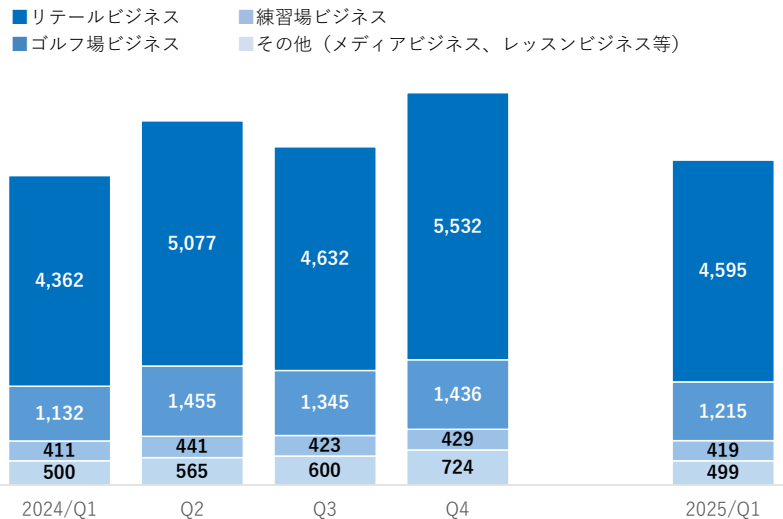
前期末時点から円高に振れ、為替差損を計上。また、シンジケートローン関連の「支払利息」も発生し、経常利益は前年同期比で大きくマイナス。

(百万円)		2024年Q1	2025年Q1	増減額
営業利益		-916	-853	+ 63
営業外 収益	為替差益	468	0	- 468
	その他の営業外収益	5	50	+ 44
営業外 費用	支払利息	175	187	+ 11
	為替差損	0	551	+ 551
	その他営業外費用	0	102	+ 101
経常利益		-619	-1,643	- 1,024
その他の特別利益		25	10	- 15
特別損失		87	23	- 64
法人税、法人税等調整額		142	-80	- 223
当期純利益		-823	-1,575	- 752

CHAPTER
03
国内セグメントの状況

- ▶ 売上は、前年Q2以降成長が続くゴルフ用品販売と、ゴルフ場ビジネスの成長が牽引。
- ▶ 営業利益は、ゴルフ用品販売における売上総利益率の改善効果に加え、販管費の効率化により物価高騰の中でも前年並みを維持した結果、営業利益は前年比+2.6億円の成長。

サービス別売上高（四半期別）（百万円）

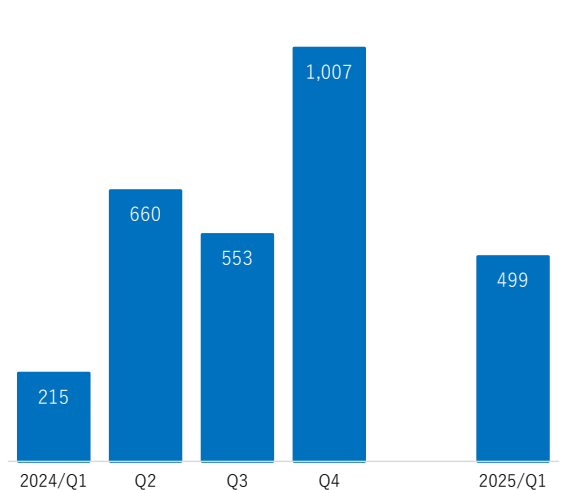


国内セグメントPL概要（通期）（百万円）

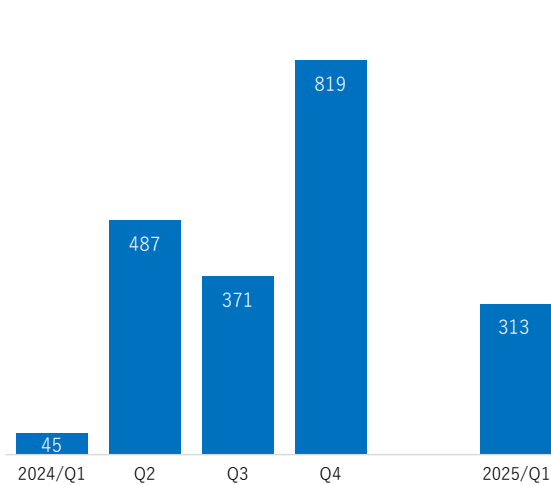
	2024年 Q1	2025年 Q1	増減額	増減率
売上高	6,405	6,728	+ 322	+ 5.0%
ゴルフ用品販売	4,362	4,595	+ 233	+ 5.3%
ゴルフ場ビジネス	1,132	1,215	+ 82	+ 7.3%
練習場ビジネス	411	419	+ 8	+ 2.1%
その他	499	498	- 1	- 0.2%
EBITDA	215	499	+ 284	+ 132.0%
営業利益	45	313	+ 267	+ 584.7%

- ▶ 売上総利益率の改善及び継続的な販管費コントロールが奏功し、EBITDA、営業利益ともに、前年比で大きく成長。

EBITDA推移（四半期別）（百万円）



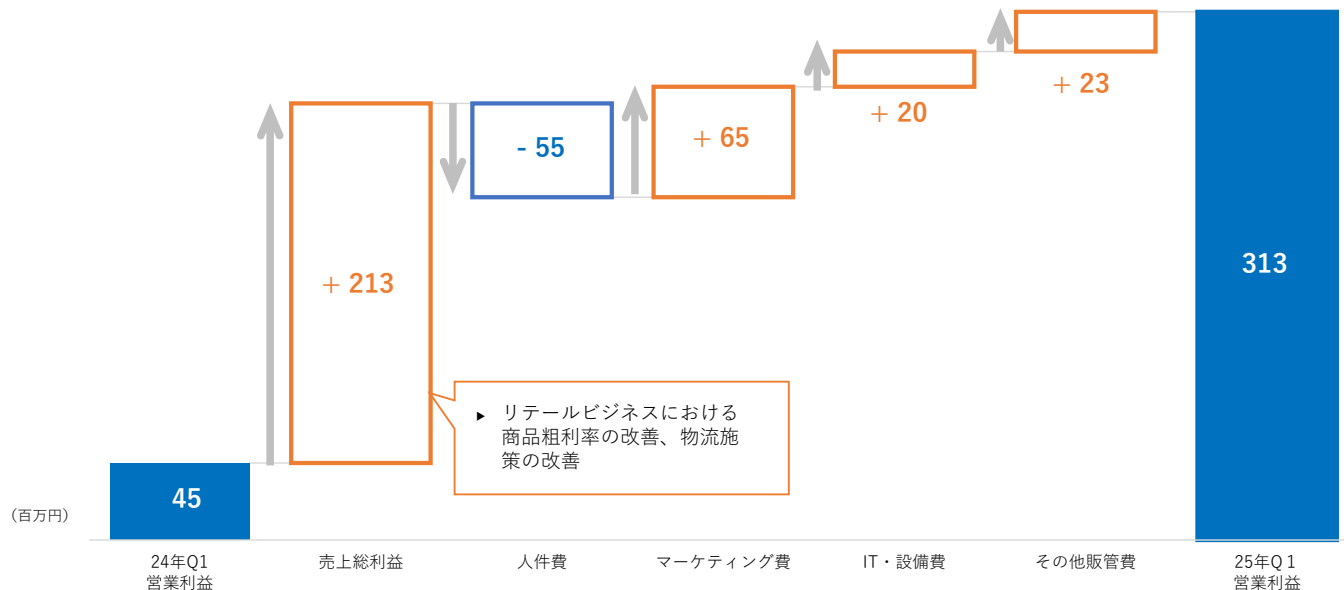
営業利益推移（四半期別）（百万円）



通期 前年比（百万円）

	2024/Q1	2025/Q1	YoY	
EBITDA	215	499	+ 284	+ 132.0%
営業利益	45	313	+ 267	+ 584.7%

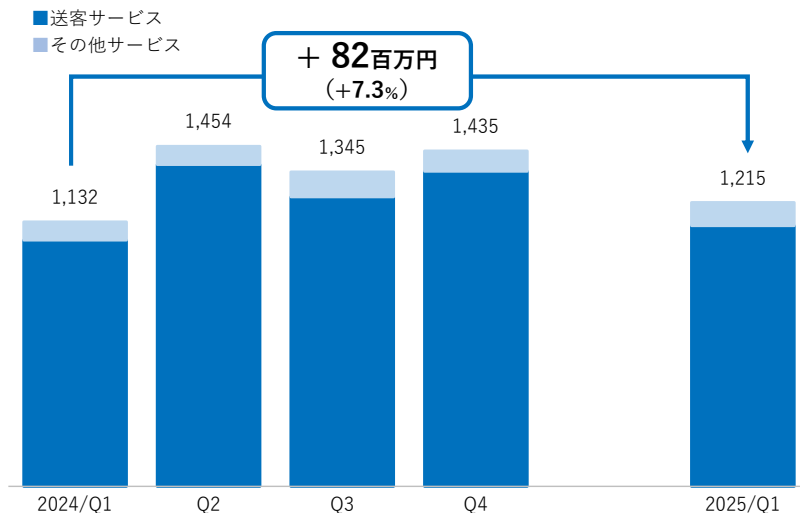
前年Q1まで低迷していたゴルフ用品販売における売上総利益率が前年Q2以降改善に向かっていることに加え、販管費の継続的なコントロールが奏功し、営業利益は2.6億円改善。



GDOオリジナルサービス強化

- 送客サービスを牽引するGDOオリジナルサービスである事前決済サービス「HOT PRICE」は順調に提携コースを拡大。更なる利用拡大のため「前払い価格」プランとして更なる販売体制の強化とゴルファーへの浸透を推進。

国内ゴルフ場ビジネス 売上高（四半期別）（百万円）



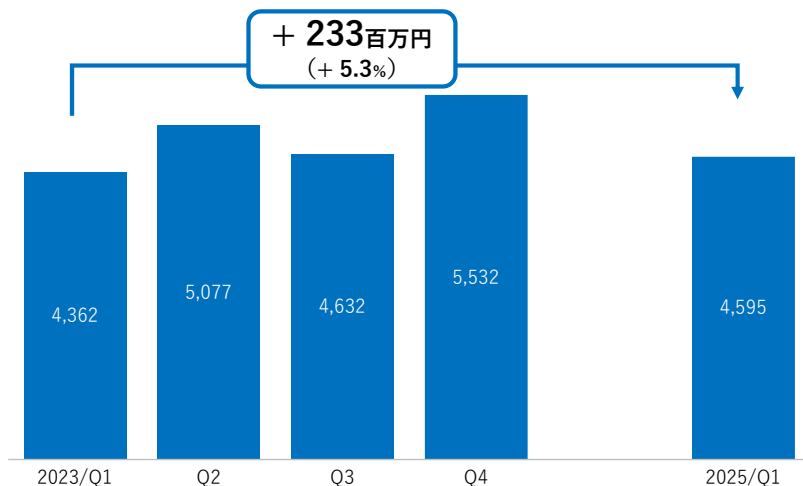
■ 送客サービス YoY + 5.9% ↑

「HOT PRICE」チケット
販売数 YoY 約 1.9 倍 ↑

商材の質改善、オリジナルサービス及び中古商材が好調に推移。利益率も改善

- ▶ ウェアが市場全体として低迷が続く中、クラブ販売やアクセサリ等他のジャンルの成長により前年Q2以降増収基調継続。
- ▶ クラブは新製品の価格高騰により旧モデルや中古商材の需要が高まり、オリジナルサービス「TRY SHOT」「下取割り」が引き続き好調に推移し、新品クラブの販売促進、中古商材の品揃え拡充にも貢献。
- ▶ 在庫の質改善等による商品粗利の回復等、総合的な取組みにより売上総利益率は改善。

国内リテールビジネス 売上高（四半期別）（百万円）



中古品EC売上高

YoY + 11% ↑

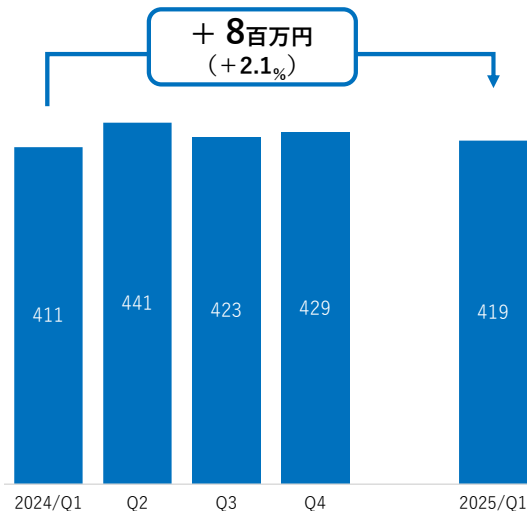
「下取割り」サービス
利用件数
(2022年6月開始)

YoY + 13% ↑

導入施設・打席数、利用者数ともに増加

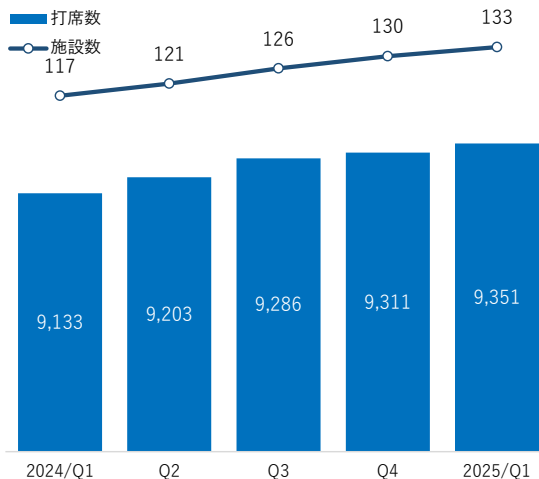
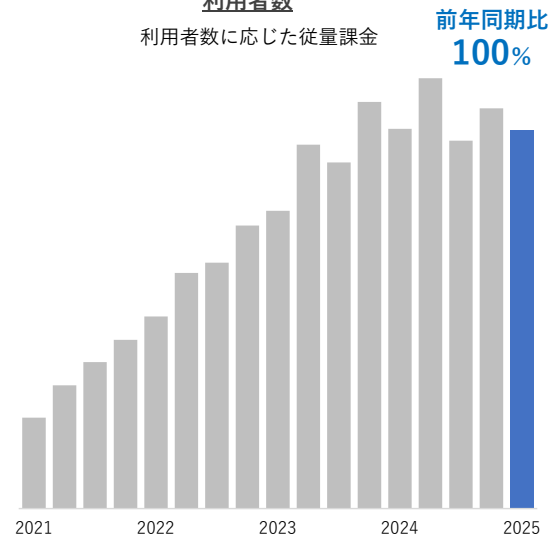
- 競争環境が厳しくなる中、新規導入及び既存施設における増設で、Q1における増加導入数は +3 施設、+111 打席。
- 導入施設数の増加、集客施策の実施等で、トップトレーサー・レンジ利用者は、前年並みを維持。

国内ゴルフ練習場 売上高 (四半期別) (百万円)



導入施設数・打席数

打席数に応じた固定料金

利用者数
利用者数に応じた従量課金



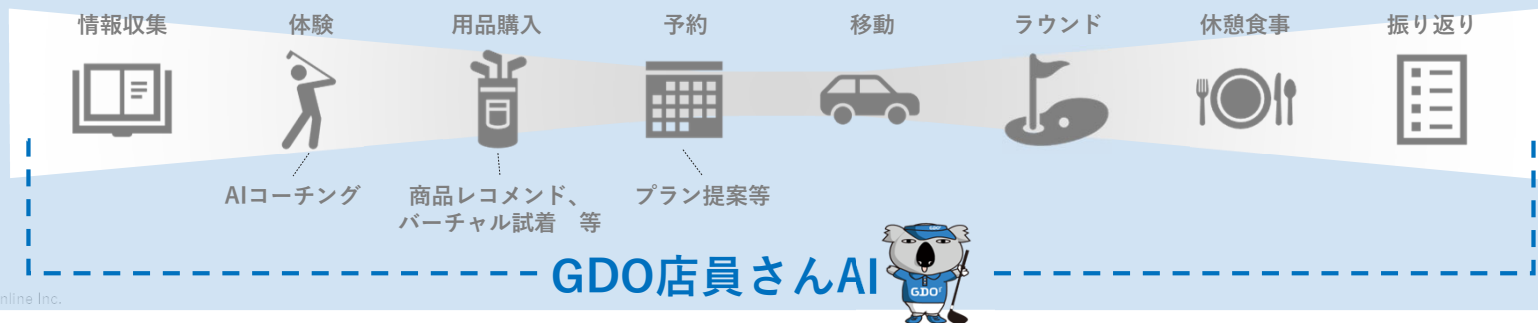
ゴルフ×AIの可能性

生成AIを活用したgolfer向けサービス 実現可能性の検証(PoC)を開始

～ 電通デジタル社との AI共同研究開発プロジェクト『GDO-AI Lab.』～

- ▶ GDOが誇る圧倒的な量のgolferデータベースを基に、生成AI研究開発に着手。
- ▶ golferとの複数の接点を連動した新しい体験の提供と、ゴルフに特化した独自のマーケティングエコシステムの実現を目指す。

『AIコンシェルジュ』が、ゴルフに関するすべての体験で一人一人をサポート



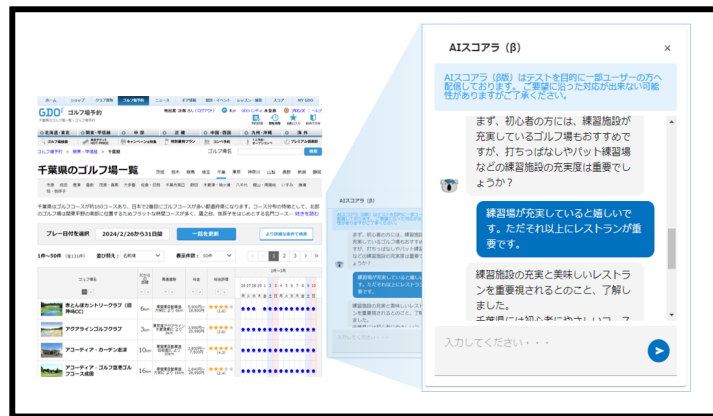
個人情報に紐づかない顧客の行動・閲覧データ、口コミ等を活用し、対話型AIを通じてユーザーの購買行動・予約行動にリコmendや提案を行う機能を実装
一部ユーザー向けテストを2025年2月より順次スタート

ECサイトでのバーチャル試着の テスト実装



生成AIが詳細な商品データを学習・解析しており、ユーザーは簡単にアイテムを身に着けた状態の見た目を確認できます。
将来的に、ユーザーが過去に購入した商品と組み合わせた試着、コーディネート提案、類似アイテムのリコmend機能等を追加予定。

ゴルフ場予約サイトへの 対話型AIのテスト実装



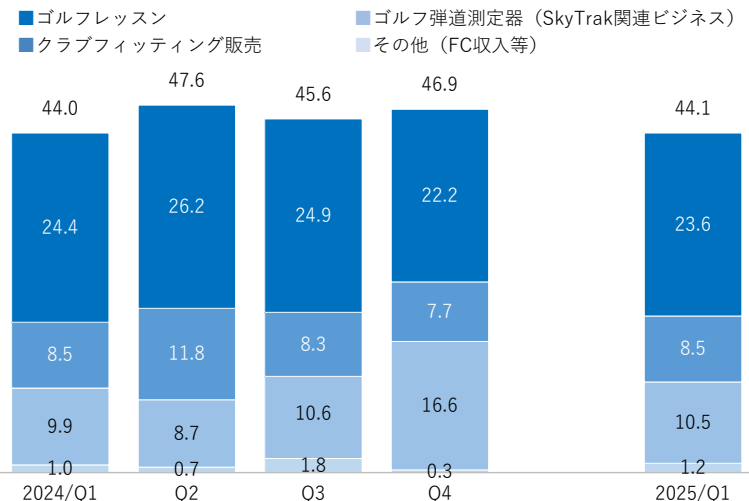
GDOに蓄積された膨大な量のゴルフ場に関するレビュー等を基に、対話型AI「GDO店員さんAIチャット」が、ユーザー専用の有能なコンシェルジュとして、具体的な予約枠を提示。

CHAPTER
04
海外セグメントの状況

ゴルフ弾道測定器ビジネスは堅調に売上増加するも、ゴルフレッスンの会計上の売上は前年後半のCash Sales苦戦により微減、海外セグメント売上合計で前年並み。

- ▶ ゴルフレッスン関連の2024年後半のCash Sales苦戦を受けて、EBITDA、営業利益が前年比で減少。
- ▶ 引続き、各ビジネスの売上回復を目指すともに、コスト管理と業務の効率化を引続き進めていくことで、EBITDA、営業利益の改善を目指す。

米国GOLFTECグループ売上高（四半期別）（百万USD／会計ベース）

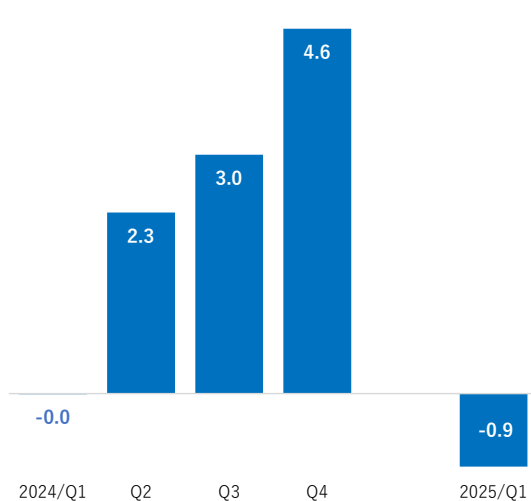


海外セグメントPL概要（Q1）（百万USD）

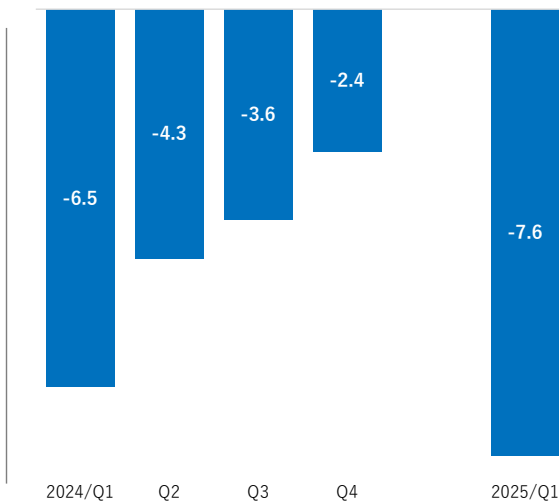
	2024年 Q1	2025年 Q1	増減額	増減率
売上高	44.0	44.1	+ 0.0	+ 0.0%
ゴルフレッスン	24.4	23.6	- 0.8	- 3.3%
フィッティング販売・EC販売	8.5	8.5	+ 0.0	+ 0.6%
ゴルフ弾道測定器 (SkyTrak関連事業)	9.9	10.5	+ 0.5	+ 5.7%
その他 (連結相殺、その他)	1.0	1.2	+ 0.1	+ 17.3%
EBITDA	-0.0	-0.9	- 0.9	— %
のれん等償却前営業利益	-3.3	-4.6	- 1.2	— %
のれん等償却費	3.0	2.9	- 0.1	- 3.6%
営業利益	-6.4	-7.6	- 1.1	— %

- ▶ Q1では、前年比でEBITDA、営業利益ともに減少。
- ▶ Q1は例年費用が先行するタイミングであり、最も営業利益が低くなる四半期。

海外 EBITDA推移（四半期別）（百万USD）



海外 営業利益推移（四半期別）（百万USD）

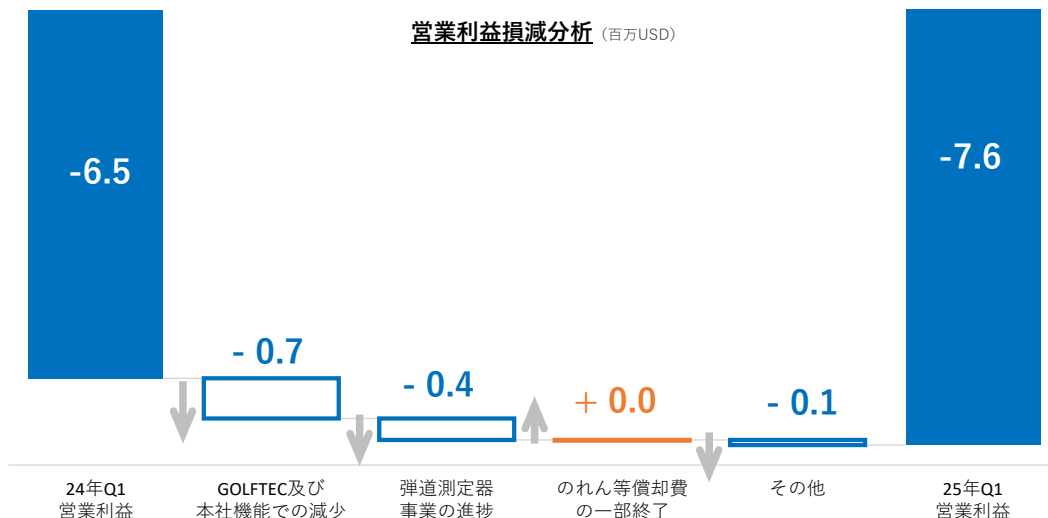


Q1前年比（百万USD）

	2024/Q1	2025/Q1	YoY	
EBITDA	-0.0	-0.9	- 0.9	-%
営業利益	-6.4	-7.6	- 1.1	-%

ゴルフテック事業及びゴルフ弾道測定器事業共に、費用が先行

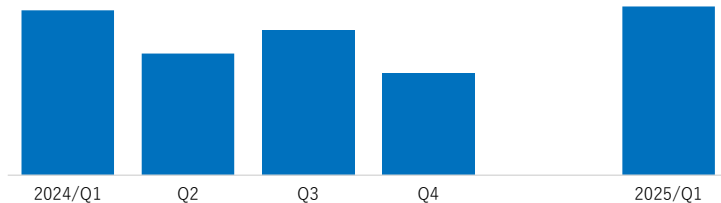
- ▶ ゴルフテック及び本社機能において、ソフトウェア開発による減価償却費が増加。また、新サービスのCash Salesが上昇し収益認識に先行して費用が発生。
- ▶ ゴルフ弾道測定器ビジネスはハード機器の価格競争激化に伴い売上総利益率が低下。また、ソフトウェアの年間利用契約増加に伴い収益認識に先行して費用が発生。



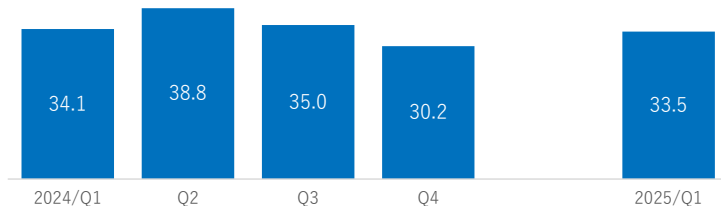
会計ベースの売上高は前年後半の苦戦により前年比で減少するも、Cash Salesは1.7%増加

- ゴルフレッスン ▶ 既存顧客への売上が好調に推移するも新規顧客の獲得で苦戦。対応策としてウェブサイトのリニューアル等の施策を実施する一方、デジタルマーケティング施策の効果は、今後に期待。
- フィッティング販売
EC販売 ▶ フィッティング販売は、クラブメーカーとの協業施策の実施により一定程度回復。引き続き施策の改善を重ねてさらなる売上成長を目指す。

直営店のCash Sales (百万USD)



四半期別売上高 (百万USD/会計ベース)



米国GOLFTEC 前受金

41.7 34.2 37.9 32.5 42.3

(百万USD)	2024/Q1	2025/Q1	YoY	
U.S. GOLFTEC 売上高 (会計ベース)	34.4	33.8	+ 10.0	+ 7.9%

Cash Sales 前年比 +1.7%

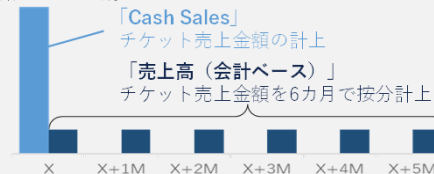


Cash Salesと四半期売上高（会計ベース）の関係

例) X月に有効期間6カ月のチケットを購入した場合

「Cash Sales」
チケット売上金額の計上

「売上高（会計ベース）」
チケット売上金額を6カ月で按分計上

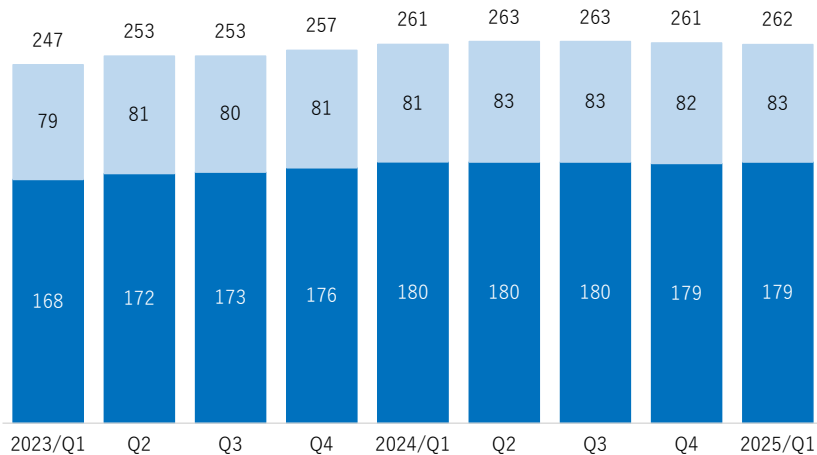


2025年度も前期同様、新規出店を行わず、既存店の業績回復に注力

- ▶ 既存店の収益性向上を最優先事項とし、売上拡大のための新規サービスの展開と、コスト管理の徹底を引続き実施していく。

店舗数

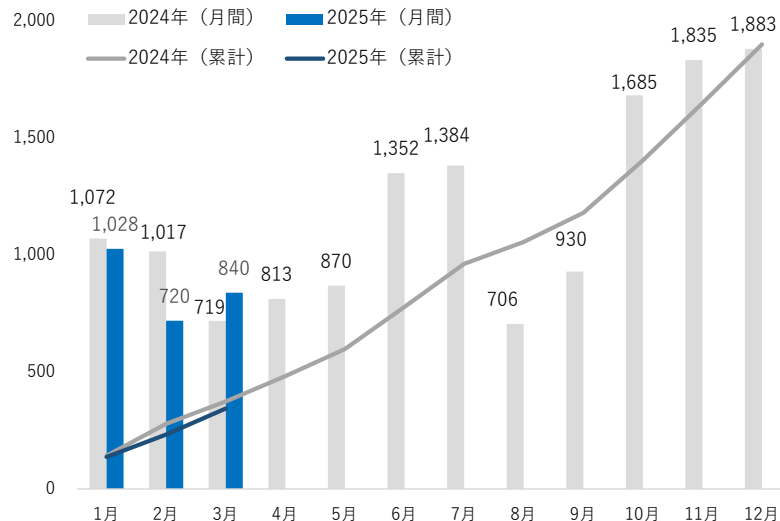
■直営店
■FC店



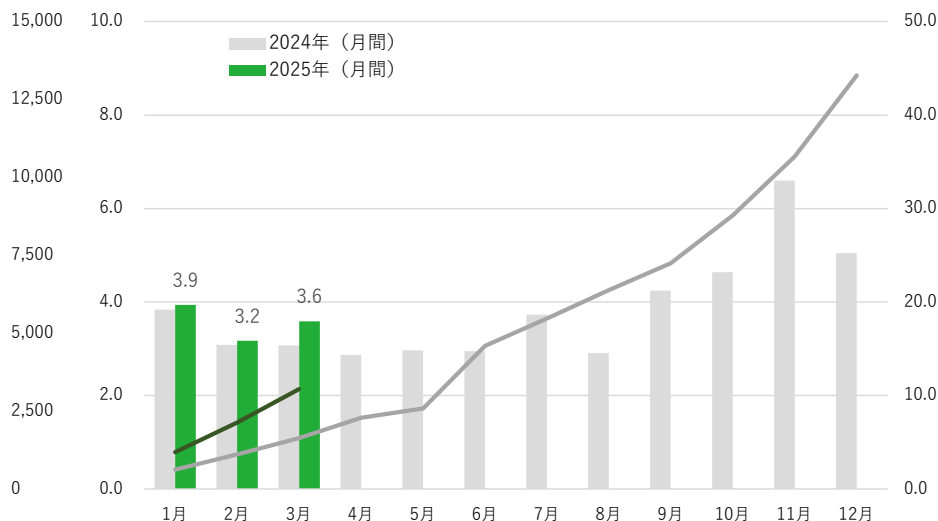
ゴルフ弾道測定器の販売個数は、前年比で減少。一方、ホームスタジオ機器が引続き好調で、ビジネス全体の売上は継続成長。

- ▶ ゴルフ弾道測定機の価格競争は引続き激化。販売台数は海外向け販売の減少により前年比で減少。
- ▶ 当年は周辺機器の販売に注力。持続的な成長でゴルフ弾道測定器事業全体の売上拡大に貢献見込み。

「SkyTrak」及び「SkyTrak+」の販売台数推移 (月次)



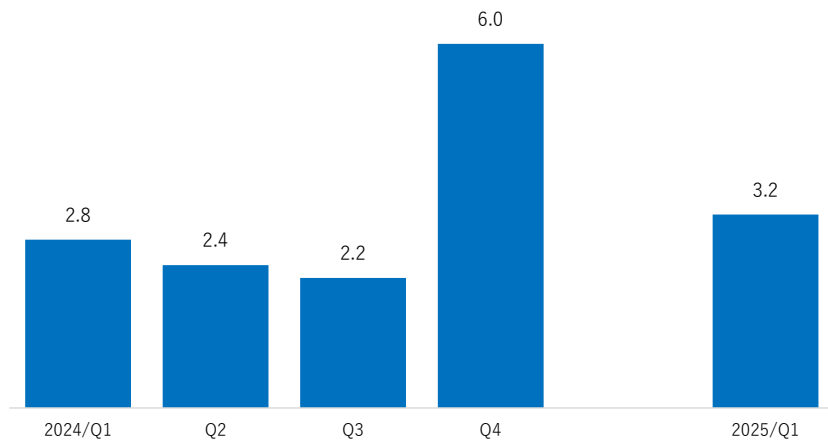
ゴルフ弾道測定器事業 (SkyTrak関連事業) の売上高推移 (月次)



ホームスタジオ機器の売上は継続して前年比で成長。

- ▶ 「SkyTrak」および「SkyTrak+」の周辺機器として、ホームスタジオ機器（ネット、マット、プロジェクター、ケース等）を販売。
- ▶ 当年も弾道測定器市場の価格競争が激化する中、ホームスタジオ機器販売は継続成長。1年を通じてさらなる拡大を目指す。

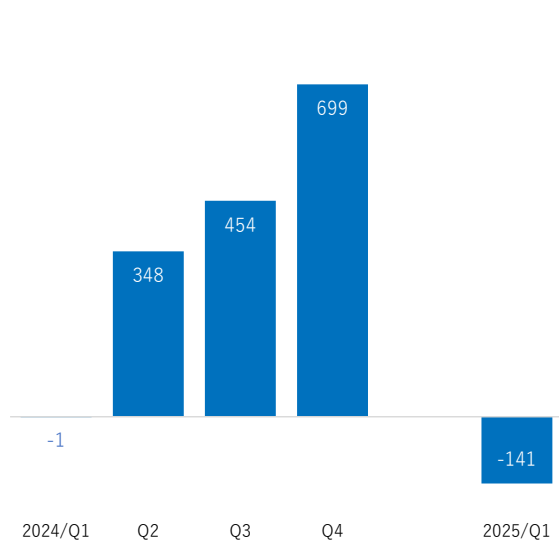
ホームスタジオ機器売上（百万USD）



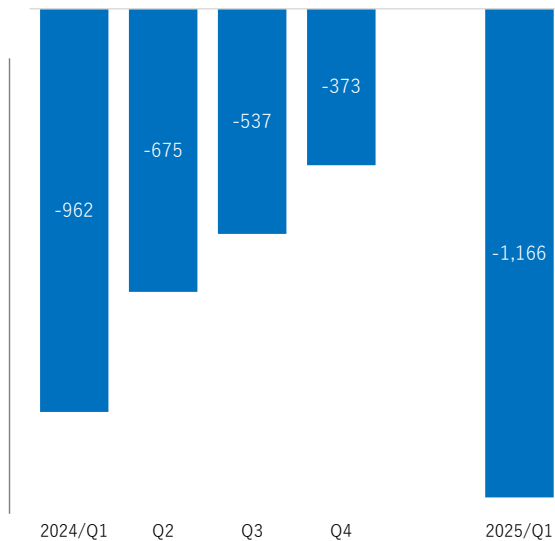
(百万円)	2024年 Q1	2025年 Q1	増減額	増減率
売上高	6,553	6,728	+ 175	+ 2.7%
ゴルフレッスン	3,637	3,611	- 26	- 0.7%
フィッティング販売・EC販売	1,268	1,310	+ 41	+ 3.3%
ゴルフ弾道測定器 (SkyTrak関連事業)	1,477	1,588	+ 110	+ 7.5%
その他 (連結相殺、その他)	169	218	+ 49	+ 29.0%
EBITDA	-1	-140	- 139	— %
のれん等償却前営業利益	-502	-711	- 208	— %
のれん等償却費	459	455	- 4	- 1.0%
営業利益	-962	-1,166	- 204	— %

期中平均為替レート：2024年 \$1USD=¥151.68
2025年 \$1USD=¥152.56

海外 EBITDA 推移 (四半期別) (百万円)



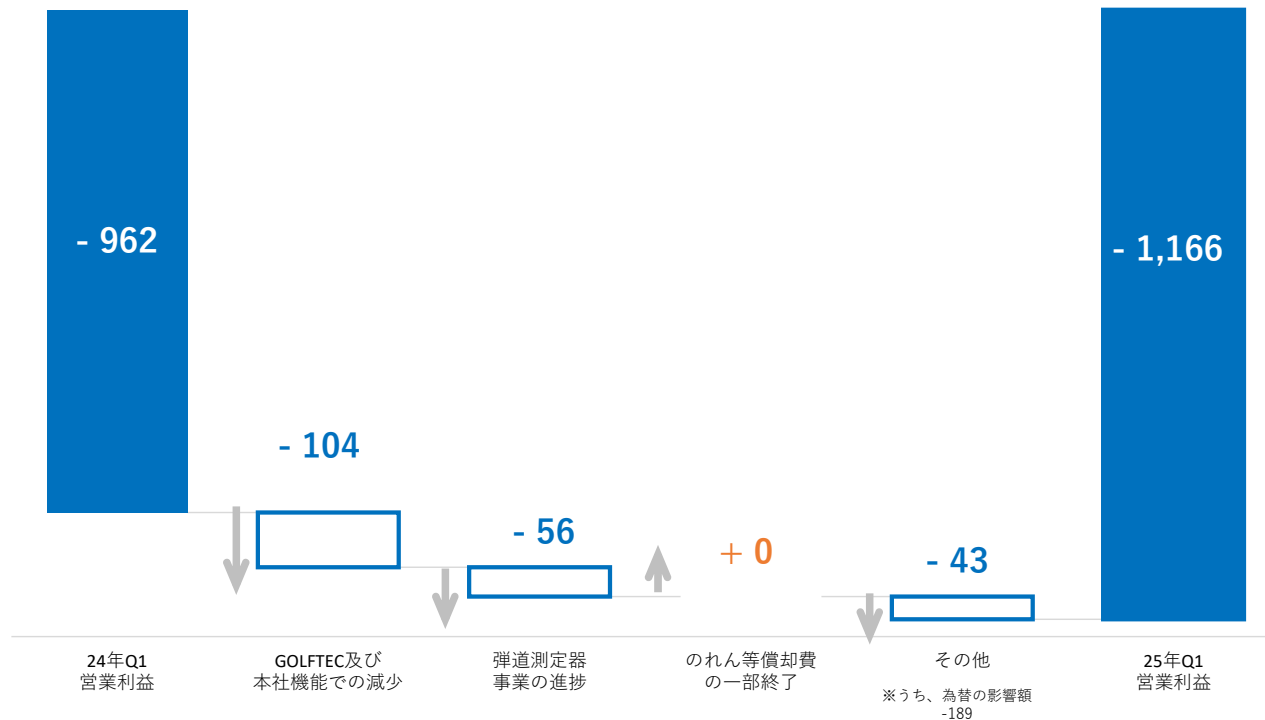
海外 営業利益 推移 (四半期別) (百万円)



通期 前年比 (百万円)

	2024/Q1	2025/Q1	YoY	
EBITDA	-1	-140	- 139	-%
営業利益	-962	-1,166	- 204	-%

営業利益増減分析 (百万円)



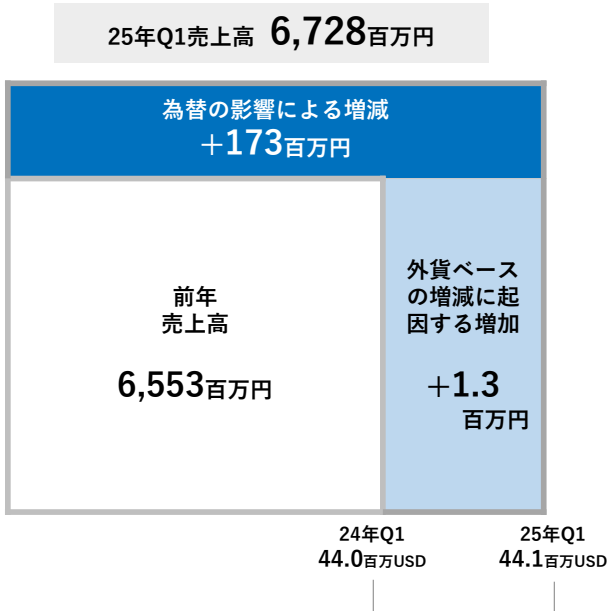
米国GOLFTECグループ

売上高※の増減分析

期中平均為替レート
(1 USD当たり)

25年Q1
¥ 152.56

24年Q1
¥ 148.62



売上高増加額 **+0.1**百万USD

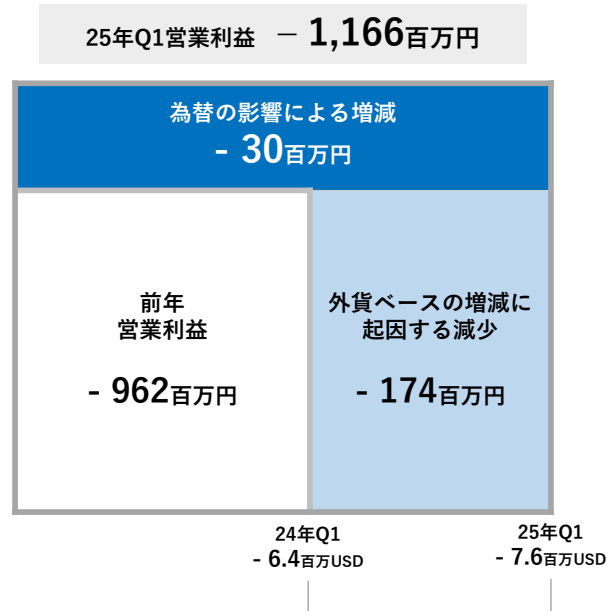
海外セグメント

営業利益の増減分析

期中平均為替レート
(1 USD当たり)

25年Q1
¥ 152.56

24年Q1
¥ 148.62



営業利益減少額 **- 1.1**百万USD

CHAPTER
05
その他財務数値関係

- ▶ 為替レートは、前年度末時点の158.17円から当年Q1末時点の149.53円と円高方向に動き、海外関連の各資産・負債の残高が減少。
- ▶ Q1は季節性により費用が先行し純資産が減少。財務体質の改善に引き続き注力。

(百万円)	2024年末		2025年Q1末		
		構成比		前期末比	構成比
流動資産	15,007	32%	15,997	+ 990	35%
現預金	2,183		3,080	+ 897	
売掛金	4,219		3,252	- 967	
商品	6,154		6,902	+ 747	
その他流動資産	2,451		2,763	+ 313	
固定資産	32,145	68%	29,666	- 2,478	65%
有形固定資産	16,526		15,134	- 1,391	
無形固定資産	14,629		13,437	- 1,191	
(うち、のれん)	(7,720)		(6,992)	(- 728)	
投資その他の資産	989		1,094	+ 104	
総資産	47,152	100%	45,664	- 1,488	100%

	2024年末		2025年Q1末		
		構成比		前期末比	構成比
流動負債	26,880	57%	28,064	+ 1,183	61%
買掛金	3,485		4,290	+ 805	
短期借入金	10,733		10,326	- 407	
契約負債（前受金）	6,721		7,979	+ 1,257	
その他の流動負債	5,941		5,469	- 472	
固定負債	20,275	43%	18,953	- 1,321	42%
長期借入金	10,583		10,017	- 566	
その他固定負債	9,692		8,936	- 755	
負債合計	47,155	100%	47,018	- 137	103%
純資産合計	-3	-0%	-1,354	- 1,351	-3%
株主資本合計	-254		-1,830	- 1,575	
その他包括利益累計額	240		459	+ 219	
新株予約権	10		15	+ 5	
負債・純資産合計	47,152	100%	45,664	- 1,488	100%

IT投資、設備投資等、以下を実施。当年度は、投資をコントロール。

海外 セグメント

2.1 百万USD
(322 百万円)

米国GOLFTEC

- ▶ 既存店舗設備のモダン化、改善・改修

ゴルフ弾道測定器

- ▶ ソフトウェア開発

GOLFTEC ANYWHERE構想関連

- ▶ ソフトウェア開発

国内 セグメント

80 百万円

- ▶ ゴルフ用品販売ビジネス、ゴルフ場ビジネス関連のUI/UXの改善
- ▶ トップトレーサー・レンジ施設関連

 **PLAY YOUR LIFE**

GDO[®]

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン